

吹田市におけるEV普及に向けた取組

吹田市環境部環境政策室

吹田市におけるEV普及に向けた取組

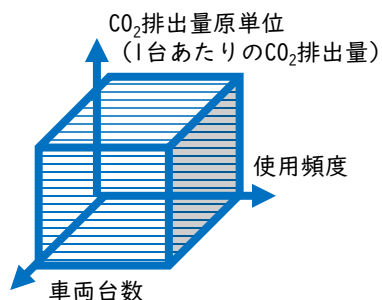
公用車の脱炭素化

吹田市公用車脱炭素化方針

公用車の脱炭素化の考え方

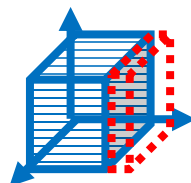
公用車の脱炭素化のための3つの要素

CO₂排出量
(直方体の体積)



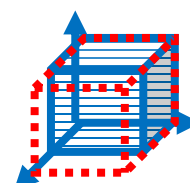
ワークスタイルの転換

公共交通機関や自転車など
を利用することで、公用車
の使用頻度を減らし、CO₂を
削減



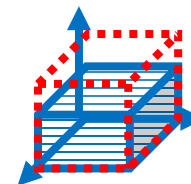
車両台数の削減

台数の最適化を図り、公用
車の台数を減らし、CO₂を削
減



ゼロエミッション車の導入

車両をゼロエミッション車に
することで、車両から排出され
るCO₂を削減



対象

市が所有又は使用する全ての自動車

目標

乗用車のガソリン使用量を2023年度から5年間で2019年度比50%
以上削減

※乗用車とは、乗車定員9人若しくは10人以下かつ車両総重量3.5t以下の普通自動車、
小型自動車及び軽自動車（荷台付きのものを除く）

※特種用途自動車を除く

指標

2030年までに乗用車のZEV
導入率35%以上

※特種用途自動車を除く

吹田市におけるEV普及に向けた取組

公用車の脱炭素化



R5.12 ミニキャブミーブ納車



R6.2 サクラ納車

市民向け電気自動車 充電設備設置事業

設置予定施設

集合住宅等への設置に向けた 説明会の開催

住民の3/4を占める
集合住宅在住者へ重点アプローチ



設置予定設備
普通充電設備（出力6kW）

マンション向け 電気自動車（EV） 充電設備導入セミナー

参加
無料

セミナー定員
100名
先着順

事前
予約制

賃貸
オーナー
も参加可



吹田市は、2050年までにゼロカーボンシティを目指すことを表明しました。この達成のためには移動の脱炭素化が重要です。
 マンション居住率が全国トップクラスである吹田市において、EVの普及のためには、マンションへの充電設備の導入が鍵となります。このセミナーをきっかけにEV充電設備についてぜひお考えください。

こんなお悩みありませんか？

マンションだから、EVは選択肢に無いと思っ
ていませんか。
マンションだから、EV充電設備は設置できない
と思いませんか。

セミナー講師 川神 祥司
ENECHARGE株式会社
EV充電サービス事業部長 マネージャー



ENECHARGE株式会社にてマンション向け
の電気自動車充電設備に従事。マンション
に電気やインターネット回線、ケーブルサ
ービスや家電等、マンションに化
した様々なサービスの経験あり。

ENECHARGE株式会社
〒565-0824 吹田市東淀2丁目4番1号
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

日時 2024年 9月14日（土）

時間 10:00～11:30

場所 吹田市文化会館 集会室
メインホール
〒565-0824 吹田市東淀2丁目4番1号
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

▼お申込み
市のウェブサイトにて、「電気自動車（EV）充電設備導入セミナー」と検索。
 マンション、参加者氏名（複数参加の場合は代表者名）、参加人数、電話番号
 を記入の上、お申し込みください。
info@city-of-fukushima.jp?subject=offer&first_lastname=your_lastname
 ▼お問い合わせ
 ☎ 06-6384-1782
 ☐ env-energy@city.fukushima.jp

お申込み
お問合せ

【主催】吹田市環境局環境政策課 環境EV推進課 各課



吹田市におけるEV普及に向けた取組

環境教育フェスタ（2024年2月） 試乗体験

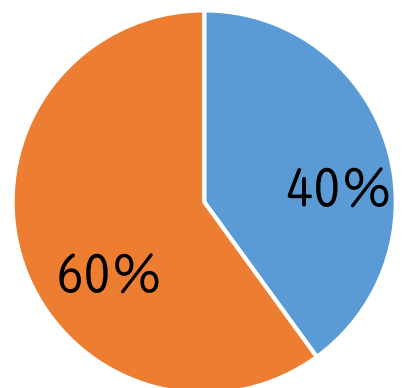
電気自動車の試乗体験、プロのレーシングドライバーの運転による電気自動車の乗り心地体験を実施。

体験者の多くからは、「乗り心地がよい」、「加速もあって良かった」など好意的なコメントが寄せられた。



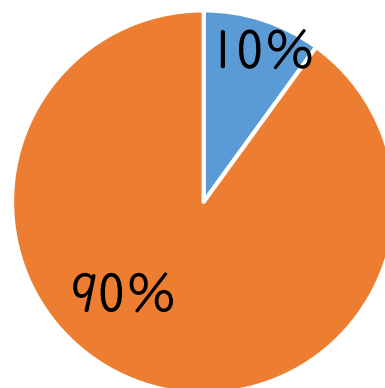
EVに関心がある者・EV購入者の割合

EVに関心がある者（試乗希望者）



■ 集合住宅 ■ 戸建住宅

実際のEV購入者



■ 集合住宅 ■ 戸建住宅

※経済産業省製造産業局自動車課
「電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電インフラ整備事業費補助金について」（平成29年7月）を基に作成

全国及び大阪府内における集合住宅居住率（特別区除く）

順	自治体	集合住宅居住率(%)	順	自治体	集合住宅居住率(%)
1	福岡市	78.4	1	吹田市	75.3
2	浦安市	77.9	2	大阪市	73.9
3	那覇市	76.4	3	豊中市	64.2
4	多摩市	75.5	4	茨木市	61.7
5	戸田市	75.3	5	島本町	57.9
5	和光市	75.3	6	池田市	56.6
5	吹田市	75.3	7	摂津市	51.6
全国		44.6	大阪府全体		57.1

- ・吹田市は、集合住宅在住率が全国でトップレベル。
- ・戸建住宅在住者に比べ、集合住宅在住者のEV購入者が少ない。
- ・EV普及に際し、集合住宅在住者への普及が重要で、充電インフラの整備がカギ。